



## 平成25年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドクターシーラボ  
 コード番号 4924 URL <http://www.ci-labo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 智美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小杉 裕之

TEL 03-6419-2500

四半期報告書提出予定日 平成25年6月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年7月期第3四半期の連結業績(平成24年8月1日～平成25年4月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第3四半期	24,104	△10.9	4,859	△15.9	5,050	△13.4	3,127	△9.3
24年7月期第3四半期	27,041	5.9	5,780	△19.9	5,830	△19.2	3,448	△14.2

(注) 包括利益 25年7月期第3四半期 3,206百万円 (△7.2%) 24年7月期第3四半期 3,456百万円 (△13.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第3四半期	12,549.06	12,547.16
24年7月期第3四半期	13,735.05	13,728.73

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年7月期第3四半期	21,112	18,458	87.4	74,048.59
24年7月期	22,420	17,205	76.7	69,045.21

(参考) 自己資本 25年7月期第3四半期 18,458百万円 24年7月期 17,205百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	—	—	7,900.00	7,900.00
25年7月期	—	—	—	—	—
25年7月期(予想)	—	—	—	8,000.00	8,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△10.4	7,500	△16.3	7,700	△14.4	4,750	△5.7	19,055.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期累計期間における連結範囲の変更の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3、2.(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3、2.(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年7月期3Q	254,273 株	24年7月期	254,191 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

25年7月期3Q	5,000 株	24年7月期	5,000 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年7月期3Q	249,204 株	24年7月期3Q	251,102 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、P.3、1.(3)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年末以降、政権交代を境に円高修正や株高が進み、高額品を中心とした消費回復の傾向が見られ、景気回復への期待感が高まりつつある状況であります。一般消費者が所得の増加を実感するまでには至っておらず、消費マインドが大きく改善するまでには、時間がかかるものと思われれます。

このような環境の中、当社グループは、アクアカラーゲンゲルスーパーモイスチャーEXの発売など商品の充実に加え、既存顧客の継続購入の向上と新規顧客の獲得という事業基盤の構築に努めてまいりました。

販路別に見ますと、通信販売では既存顧客の継続購入の向上と新規顧客の獲得を中心に売上高の回復策を模索してまいりました。しかしながら、2月を中心に行った新規顧客獲得の広告販促キャンペーンの効果は限定的であり、効果的な売上高回復策には至りませんでした。以上により、通信販売の売上高は16,204百万円となり、前年同期と比較して6.6%減少しました。

対面型店舗販売は、直営・百貨店に1店舗、GMSに4店舗出店した一方、直営・百貨店内店舗を4店舗、GMS内店舗を3店舗閉店いたしました。直営・百貨店は新商品を中心に販促活動を強化し、WEBとの連携を図ることでお客様の来店を促進を図りました。GMSにおいては、新規出店に合わせてイベントを実施し、認知度向上と新規顧客獲得に注力いたしました。しかしながら、来店客数の増加は見られたものの、購入客数の増加には至らず、対面型店舗販売の売上高は2,850百万円となり、前年同期と比較して14.1%減少しました。

卸売販売は、QVCにおいて美禅食などの健康食品の販売が好調であり、新たな商材として明るい兆しが見えているものの、主力販路であるGMSやバラエティストアなどの販売店における店頭での競争の激化による流通在庫の回転低下に加え、ドラッグストア開拓施策が効果的に進められていないことにより、当社からの出荷が大きく減少している状況であります。以上により、卸売販売の売上高は4,458百万円となり、前年同期と比較して22.8%減少しました。

海外においては、香港が好調に推移しております。中国からの旅行者の購入が増加している傾向に加え、ショッピングモールに1店舗出店したことが売上の増加に寄与しております。シンガポールにおいては、代理店経由の販売から子会社による直接販売に切り替えたことにより期初から11月まで売上が立たなかった影響で前年比はマイナスであるものの、3月に出店をしたIONオーチャード店が好調な売上で推移しており、今後に期待が持てる状況であります。販売代理店を通して展開している韓国においても日本人観光客及び中国人観光客への販売が堅調に推移しております。中国においては、3月にタオバオにおけるブランドサイトがプレオープンし、今後の中国におけるEコマースを拡大する基盤が構築されつつある状況です。一方で主力地域であります台湾においては、百貨店での売上が伸び悩んでおり、横ばいの状況が継続しております。米国においては卸売販売中心の販売形態からWEBを中心とした販売に事業形態を変更している途上であるため、売上は大きく減少しております。以上により、海外事業の売上高は592百万円となり、前年同期と比較して1.7%減少しました。

利益面では、売上高営業利益率が20.2%（前年同期実績21.4%）、売上高四半期純利益率が13.0%（前年同期実績12.8%）となりました。当第3四半期連結累計期間は、卸売販売を中心として売上高の減少が顕著であり、それに伴って費用面での削減を図ったものの、売上高の減少を補うには至らず、営業利益額、売上高営業利益率ともに前年同期と比較して悪化しました。

以上により、売上高は24,104百万円（前年同期比10.9%減）、経常利益は5,050百万円（前年同期比13.4%減）、四半期純利益は3,127百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

事業の種類別セグメントの概況については、以下のとおりです。

#### <化粧品事業>

化粧品事業は、ドクターシーラボブランドは、「アクアカラーゲンゲルスーパーモイスチャーEX」のリニューアルに合わせ、全社的に大規模な広告、販促キャンペーンを実施いたしました。その結果、前年の第3四半期の3ヶ月間と比較し、当該商品の売上は66.0%増加いたしました。しかしながら卸売販売を中心とする店頭での競争が激化しており、その影響により主力商品の「アクアカラーゲンゲルエンリッチリフトEX」の販売が伸びず、全体の売上高を押し下げる要因となっております。ラボラボブランドは、一部のドラッグストア限定の商品開発により、売上高の回復を図りました。ジェノマーブランドは、新商品の投入により既存顧客への訴求を強化すると同時に、パーフェクトBBクリーム発売に際し、店頭でのカウンセリング強化にも注力しました。

以上により、化粧品事業の売上高は22,431百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

#### <健康食品事業>

健康食品事業は、卸売販路におけるQVCでの「美禅食」の販売が好調に推移し、販路の拡大が着実に身を結んでいる状況であります。また、通信販売においては「美禅食」に加え、プラセンタシリーズが売上高を伸ばしております。さらに、新商品として4月に「ごぼう茶」を発売し、商品の拡充も引き続き図っています。

以上により、健康食品事業の売上高は、1,672百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比較し、1,308百万円減少いたしました。現金及び預金が1,382百万円増加した一方、卸売販売の不調などにより売掛金が2,546百万円減少したことが主因です。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較し、2,561百万円減少いたしました。これは、主に在庫額を抑えるために商品、製品の生産を抑えたことにより買掛金の額が544百万円減少したことに加え、広告宣伝費、販売促進費等の抑制したことに伴い未払金が364百万円の減少したこと及び法人税の支払いにより未払法人税等が1,389百万円減少したことによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較し、1,252百万円増加いたしました。これは、配当金による剰余金処分1,968百万円を行った一方、連結累計期間純利益を3,127百万円計上したことが主因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期の実績および国内外における市場環境等を鑑み、平成25年3月8日に発表した通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成25年7月期通期（累計）連結業績予想値（平成24年8月1日～平成25年7月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	38,500	9,700	9,800	6,050	24,278.47
今回発表予想(B)	35,000	7,500	7,700	4,750	19,055.41
増減額(B-A)	△3,500	△2,200	△2,100	△1,300	
増減率(%)	△9.1	△22.7	△21.4	△21.5	
(ご参考) 前期実績 (平成24年7月期)	39,082	8,963	8,998	5,036	20,079.50

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,981,240	10,363,708
売掛金	5,834,602	3,288,589
有価証券	251,038	251,151
商品及び製品	2,348,782	2,266,610
原材料及び貯蔵品	1,513,828	1,553,216
その他	810,818	822,431
貸倒引当金	△272,032	△288,589
流動資産合計	19,468,279	18,257,117
固定資産		
有形固定資産		
建物	257,123	259,305
減価償却累計額	△157,092	△168,259
建物（純額）	100,030	91,046
工具、器具及び備品	1,149,767	1,170,769
減価償却累計額	△890,469	△925,351
工具、器具及び備品（純額）	259,298	245,417
その他	91,861	103,874
減価償却累計額	△4,514	△13,081
その他（純額）	87,347	90,792
有形固定資産合計	446,676	427,257
無形固定資産		
ソフトウェア	591,800	505,963
その他	35,189	33,134
無形固定資産合計	626,990	539,097
投資その他の資産		
投資不動産	1,628,634	1,628,634
減価償却累計額	△76,482	△81,558
投資不動産（純額）	1,552,151	1,547,076
その他	326,751	342,024
投資その他の資産合計	1,878,902	1,889,100
固定資産合計	2,952,570	2,855,456
資産合計	22,420,849	21,112,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,075,809	531,771
未払金	1,576,222	1,211,556
未払法人税等	1,555,026	165,160
賞与引当金	87,301	222,006
ポイント引当金	122,369	130,785
商品回収等関連費用引当金	383,000	—
その他	197,339	166,933
流動負債合計	4,997,068	2,428,212
固定負債		
退職給付引当金	90,226	108,378
その他	128,108	117,667
固定負債合計	218,334	226,045
負債合計	5,215,403	2,654,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,201,810	1,209,208
資本剰余金	1,679,210	1,686,608
利益剰余金	15,782,040	16,940,711
自己株式	△1,354,566	△1,354,566
株主資本合計	17,308,494	18,481,962
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	12,893
為替換算調整勘定	△103,049	△36,541
その他の包括利益累計額合計	△103,049	△23,647
純資産合計	17,205,445	18,458,315
負債純資産合計	22,420,849	21,112,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成25年4月30日)
売上高	27,041,317	24,104,739
売上原価	4,673,783	4,029,016
売上総利益	22,367,533	20,075,723
販売費及び一般管理費	16,586,645	15,215,902
営業利益	5,780,888	4,859,820
営業外収益		
受取利息	2,085	1,912
受取配当金	870	898
為替差益	20,913	168,186
受取手数料	9,638	8,128
商品破損受取賠償金	2,702	3,286
償却債権取立益	4,888	300
投資事業組合運用益	14,431	—
その他	3,338	14,517
営業外収益合計	58,868	197,229
営業外費用		
支払利息	160	756
減価償却費	5,060	5,075
支払手数料	3,049	—
その他	929	219
営業外費用合計	9,199	6,050
経常利益	5,830,557	5,050,999
特別利益		
固定資産売却益	158	235
特別利益合計	158	235
特別損失		
減損損失	2,572	7,533
固定資産除却損	2,042	7,418
特別損失合計	4,614	14,952
税金等調整前四半期純利益	5,826,101	5,036,282
法人税等	2,377,204	1,909,002
少数株主損益調整前四半期純利益	3,448,897	3,127,279
四半期純利益	3,448,897	3,127,279

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年8月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,448,897	3,127,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,618	12,893
為替換算調整勘定	4,508	66,507
その他の包括利益合計	7,126	79,401
四半期包括利益	3,456,023	3,206,681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,456,023	3,206,681
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年8月1日 至 平成24年4月30日)

当社グループの報告セグメントは、化粧品事業及び健康食品事業であります。健康食品事業は全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年8月1日 至 平成25年4月30日)

当社グループの報告セグメントは、化粧品事業及び健康食品事業であります。健康食品事業は全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。